

ミスミグループ本社 2016年3月期 連結業績

～ 5期連続で過去最高売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

（百万円）	2015年3月期	2016年3月期	増減率
売上高	208,562	240,139	+15.1%
のれん等償却前 営業利益 ※1	25,998	28,228	+8.6%
営業利益	23,759	25,690	+8.1%
純利益	14,291	16,907	+18.3%
1株当たり純利益 ※2	52.28円	61.65円	

※1 Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

※2 2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

前年同期についても期首に当該株式分割が行われたと仮定し数値を算定しています。

<2016年3月期の連結業績ハイライト>

1. 日本や中国における自動化需要の取り込みやVONA事業の積極展開等により、売上高・利益共に過去最高を更新

- 2016年3月期の日本経済は、アメリカの金融政策正常化や中国を始めとするアジア新興国の景気減速の影響などにより一部に弱さが見られましたが、全般的に緩やかな回復基調が継続しました。海外では欧米で緩やかな景気回復が続く一方、中国やアセアン地域では総じて緩やかな景気減速が続きました。
- こうした環境下、当社グループは、高品質、低コスト、確実短納期を実現するミスミQCTモデルの絶えざる進化に取り組んでいます。製造業の自動化需要の拡大や短納期ニーズの高まりを受け、受注・生産・物流のプロセス革新を図ることで、MTO（受注製作品）の国内標準納期を3日から2日へ短縮するとともに、顧客に対して用途に応じた価格や商品のラインアップを拡充し、高い利便性を提供しました。さらに、事業の国際化に合わせたオペレーションレベルを向上させるため、EC基盤の強化にも取り組んでいます。FA事業においては、グローバル確実短納期化の加速と日本・中国・ベトナム3極生産補完体制の整備に向けて推進していたベトナム第4工場が竣工し、10月より生産を開始しました。また、地域ごとにミスミQCTモデルを磨き込み、生産材プロセス革新をグローバルで確実に推進するため、中国、アジア、欧州、米州の各地域企業体を設立いたしました。
- この結果、売上高は新たな自動化需要・金型需要を取り込んだFA事業や金型部品事業および積極的な営業展開を実施したVONA事業の成長が牽引し、2,401億円と前年同期比15.1%の増収となりました。

- 利益については、積極的な事業拡大に向けた人材強化やE C基盤拡充などの費用増加を売上の増加などで吸収し、営業利益は 256 億円（前年同期比 +8.1%）、純利益は 169 億円（同 +18.3%）となりました。

2. VONA事業、FA事業を中心に高成長が継続

- 2016年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

（百万円）	2015年3月期	2016年3月期	増減率
FA事業	99,094	109,653	+10.7%
金型部品事業	64,737	69,732	+7.7%
VONA事業	48,248	60,474	+25.3%
調整額（期ズレ等）	-3,517	279	-
合計	208,562	240,139	+15.1%

- FA事業においては、新たな自動化需要の積極的な取り込みなどにより、主に日本や中国での販売拡大が寄与し、前年同期比 10.7%の増収となりました。
- 金型部品事業は、主に中国や欧州における販売伸長により、前年同期比 7.7%の増収となりました。
- VONA事業は、取扱いメーカー数の継続拡大により実現した生産間接材分野で最大の品揃えを武器に、積極的な販売拡大を推進した結果、前年同期比 25.3%の大幅増収となりました。

3. 海外売上高が年間 1,000 億円超えを達成

- 2016年3月期の海外売上高は 1,112 億円（前年同期比+15.6%、現地通貨ベース+7.9%）と年間 1,000 億円超えを達成し、海外売上高比率は 46.3%（同+0.2pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高（百万円）		増減率	
	2015年3月期	2016年3月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	112,334	128,938	+14.8%	-
海外	96,228	111,200	+15.6%	+7.9%
中国	30,759	38,567	+25.4%	+12.6%
アジア	26,766	28,824	+7.7%	+6.6%
アメリカ	23,974	27,129	+13.2%	+0.9%
ヨーロッパ	10,834	12,115	+11.8%	+14.8%
その他	3,893	4,563	+17.2%	+4.2%

- 日本では、拡大する確実短納期ニーズに応えながら、自動化需要の積極的な取り込みやVONA事業での積極拡販に努めた結果、好調に推移しました。
- 中国においては、経済成長の鈍化傾向が強まる中、製造業の新たな自動化需要の積極的な取り込みもあり、堅調に推移しました。一方、中国を除くアジアでは景気減速の影響、アメリカでは自動車用金型需要の低迷などにより、伸び率が弱含みました。

4. 配当性向 25%基準を継続、前年比 2.37 円の増配

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための投資や経営基盤の拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に判断し、株主還元方針を定めています。
- 配当に関しましては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2016年3月期につきましても、この基準を引き続き維持する方針です。
- 従いまして、2016年3月期の業績実績により、期末配当金は8円5銭（前年比1円98銭増）を予定しております。これにより、年間配当金は第2四半期末実績の7円37銭（前年比39銭増）と合わせ、15円42銭（前年比2円37銭増）の予定です。

	年間配当金※					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	7.37	25.0%	8.05	25.0%	15.42	25.0%
当期実績	7.37	25.0%	8.05	25.0%	15.42	25.0%
前期実績	6.98	25.0%	6.07	25.0%	13.05	25.0%

※2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

1株当たり配当金については、株式分割後の株式数（前期実績は期首に分割を実施したと仮定）で算定しています。

5. 2017年3月期連結業績は売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2017年3月期の通期連結業績見通しについては、積極投資の継続などによる売上成長を見込んでおり、6期連続で売上・利益ともに過去最高を更新する計画としています。

2017年3月期 連結業績予想（2016年4月1日～2017年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益※
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	256,000	27,200	26,600	17,800	64.85
前期実績	240,139	25,690	25,119	16,907	61.65
前期比	+6.6%	+5.9%	+5.9%	+5.3%	-

※2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

1株当たり純利益については、株式分割後の株式数（前期実績は期首に分割を実施したと仮定）で算定しています。

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2017年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2016年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR担当
Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372
mail : cc@misumi.co.jp